

平成 29 年度一般会計補正予算（第 2・3 回）成立

今回の定例会では、約9千万円の一般会計補正予算(第2回)や、約6億円の一般会計補正予算(第3回)、基金積立金約2億1千万円を含む約4億7千万円の介護保険会計補正予算(第1回)が審議され、成立しました。

第2回補正予算には、衆議院議員選挙のための費用が、第3回補正予算には、学習支援や食事提供などの子供の育成支援を実施

する団体に対する助成として、当初予算の2団体分に更に2団体分を追加するための費用や、赤ちゃんパンダ公開記念に要する費用、東武浅草駅観光バス待合所の設置費用などが含まれていて、必要な予算と考え賛成いたしました。今後とも、観光対策や子育て対策など、より一層の充実をはかるべく、全力を尽くしてまいります。

決算特別委員会総括質疑要旨

●区有地の有効活用の検討について

「老朽化した保育所、特別養護老人ホーム等の大規模改修時の対応や、児童相談所、発達支援センター等の新たな行政需要が生じる可能性から、今後、さらに区有地の必要性が高まる。例えば、旧坂本小学校のグランド跡地を学校法人華学園に20年借家で貸し付けているが、あと3年で定期借家が終了を迎える。定期借家が終了する3年後を見据え、この土地を今後どう活用していくのかを含めて、しっかりとした検証を行うべきである。また、現在「就労支援センター」として活用している、東京都の土地も3年後には事業が終わる事から、隣接する区有地と合わせ検討するべきである

と考える。区有地について現状を十分把握した上で、行政需要に対応した活用が重要である」と区長の答弁を求めました。

区長から「区有地の規模や立地条件、周辺環境等の特性を十分に捉えた上で、新たな行政需要への対応を含め、様々な視点から活用を検討していく」との答弁がありました。

●根岸地区の木造住宅密集市街地について

「根岸三・四・五丁目地区の密集事業は、不燃領域率の向上に伴い、平成28年度に終了したが、内部市街地の不燃領域率は、平成28年度時点で52.3%と、依然として低い。区は密集事業終了に伴い、29年度より、内部市街地エリアには、「安心助成制度」を適

用することとしたが、今後とも、このエリアの防災力向上に向けた取組は、最重要課題である。

よって、「更なる防災性の向上を図るためには、本年度よりこの地区に適用している助成制度をしっかりと活用すべき」と提案。

区長から「安心助成制度の更なる周知・啓発に努め、不燃領域率の改善に取り組む、防災性向上を図っていく」との答弁がありました。

●大型自転車対策について

「大型自転車の利用者が増えているが、その重さと大きさにより、駐輪場の利用に支障が生じている。「入谷自転車駐輪場」では、大型自転車がラックに納まらない。1階から2階への移動の際は重くて上がらない。1階と2階の踊り場は、自転車2台の交差が出来ない。などなどの問題が生じている。駐輪場において、大型自転車を視野に入れた対策を講ずるべき」と提案。更に「大型自転車は、電動アシスト付きでスピードが出やすく、重大事故につながる危険性があるが、同乗する子供のヘルメット着用が徹底されていない。大型自転車に同乗した子供の安全対策としてヘルメット着用の徹底を図るべき」と提案。

区長から「専用スペースの設置や、ラック交換時の機器変更など、様々な工夫を行っていく」「同乗している子供の安全対策とヘルメット着用の徹底を図っていく」との答弁がありました。

阿部みつとし プロフィール

大学卒業後フリーアナウンサーとして、日本テレビ・テレビ朝日を経てフジテレビで10年間専属契約。昭和・平成の主たる事件事故(オウム真理教事件・神戸連続殺傷事件等)を担当。広告代理店経営を経て、2011年統一地方選にて初当選。現在2期目。

【所属委員会】

環境・安全安心特別委員会 委員長
区民文教委員会

【所属協議会及び推進委員会】

台東区社会教育団体協議会 常任理事
台東区消防団運営委員会
台東区生活安全推進協議会
はなの心プロジェクト推進協議会
台東区花とみどりの審議会
台東区廃棄物減量等推進委員会
ときめきたいとうフェスタ推進委員会

【所属団体】

■家庭倫理の会 相談役
■日本モンゴル交流協会 理事
■小野照崎神社拾五ヶ町睦会会員
■上野消防団第五分団団員
■下町第九の会(バス担当・5年目)
■ラジオ体操会(上野公園・お行の松・入谷南公園・東泉公園等)
■三峯神社豊住講社世話人
■お行の松不動産
■東京伏見稲荷講 ■日本を知る会
■石稲荷講 ■上野公園早起き会



連絡先: **阿部光利政策事務所**
Tel&Fax: **03-3874-0141**
〒110-0004 台東区下谷2-23-4
<http://abemitsutoshi.com/>

